

皆様いかがお過ごしでしょうか？

安保関連法案が国会にて可決？されました。ここではこの法案の賛否は申し上げませんが、非常に残念なのは可決までの「過程」と「伝え方」があまりにも子どもじみていた事です。この事は今回に限った事ではありませんが・・・「伝え方」のグランドデザインが感じられないんです。あれだけ幼少時代に成績の良い（あえて頭が良いとはいいません）官僚や政治家が集まっているにも関わらず、伝わって来ないんです・・・何故なのでしょう・・・

私が思うに日本という島国の歴史と「教育」が原因ではないでしょうか。今、日本の中枢を担う40～50代（私達世代）は、官僚を含む国家公務員・一流企業に入るためには一流大学←一流高校←学力偏重（テストの平均点が高い事が大事）という図式で成り立ってきました。学力偏重の中、その基準を決めるテストは誰が作って、どんな内容だったのでしょうか・・・

日本史にいたっては縄文時代や弥生時代から学び、大正デモクラシーで終わり、現代史（特に戦後）は割愛。国語や英語も主語・述語・形容詞・助詞なんかもう意味不明・・・（研究者には大事なのでしょうが・・・）”暗記の優秀さ＝学力”のようなテストで優劣が決まってきたような気がします。

その結果、多くの日本人の「創造する力、伝える力、リーダーシップ」が養われてこなかったような気がします。もしかすると戦後の教育改革で戦勝国アメリカが意図的にそうしてきたのかも知れませんが・・・

次回発行予定平成28年新春月予定です。

保険のツボ～民間の介護保険～

ここ数年、民間の保険会社がこぞって「介護保険」を販売するようになってきました。これには二つの理由があります。

- ①日本の人口構成の変化で高齢化社会となり、介護補償の必要性が高まってきた
- ②少子高齢化により保険会社も死亡保険や医療保険の販売が飽和状態に達してきた

正直なところ私は「何でも保険」という考え方には反対です。（保険の販売を業としている身なのですが・・・）

特にこの介護保険は、ご自身の家族環境、経済力を考え、必要か否かを判断していただきたいと思っております。

「介護保険」は保険各社によって保険金の支払い事由が違っております。大きく分けると次の二つです。

- ①国の公的介護保険制度と連動しているもの（要介護2又は3が主流）
- ②保険会社の独自の支払基準によるもの（概ね要介護3以上のレベル）・・・ご加入の際はしっかり把握しておくことが大事です。

今後、死亡保険と連動した介護保険の商品化が進んでいくと思われまます。ここ2～3年保険会社の動向を見ておきたいと思います。

大ちゃんのこれは美味しい！

「和匠肉料理 松屋 箕面店」

ちょっと贅沢な焼肉屋なのですが、5,000円～6,000円で2人分の上質なお肉が食べれます！

3,000円の食べ放題へ行くなら是非こちらへ！

子ども達が「がっつり」食べたい時は別のお店に(笑)



住所：箕面市牧落1-8-4
◆阪急梅田店や天王寺店もあり
「松屋グループ」で検索
電話：072-723-0298
予算：少し飲んで二人で1万円程度

大ちゃんのこの一冊！

「挫折力」 富山和彦著

中小企業の経営再生を手がけてきた富山氏の著。

「チャンスはでこぼこ人生、挫折のドラマを持っていく人のところにやってくる！」

本紙の上文を書いているときに偶然手に取った書でした。

松下幸之助翁 珠玉の言葉

日本の教育の、一番の欠点は、徳育が欠けているところや。徳育は大事なもののや。わしはそういうことを、絶えず言っておるけどね。知育、体育、徳育というけど、徳育が中心なんや。今の教育は、道徳を教えてへんな。今、子どもたちが乱れておるのも当たり前や。

大ちゃんの独り言

前号でもお伝えしましたが、今年の正月早々に「腎臓ガン」で入院手術を経験しました。

多くのお客様から、お気遣いのお言葉やお手紙、メールを頂戴し感謝に耐えません。ありがとうございますm()m 幸いにも手術後の定期的な精密検査では再発や転移は見られておらず、お陰さまで手術前と変わらぬ生活をさせていただいております。しかし正直なところ、検査の度にある種の不安がよぎってしまいますね・・・（仕方ないか・・・）

最近も同世代の有名人の方々がガンで亡くなられた報道を見ると「自分の番」が近づいているような”錯覚”に陥りまそのせいか、何か日々を「あせり」、行動してしまっているような自分がいます。

「今しておかないといけない・・・」「今伝えおかないといけない・・・」そんな「あせり」を感じています。

私の人生観を変えてくれた一冊の著があります。この通信でもご紹介しました田坂広志氏の「人生の成功とは」です。田坂氏の云う人生の成功とは「競争に勝つことや目標の達成でもなく、自身の成長が出来たか」であります。もちろん競争に勝つこと、目標を達成することに努めることは大事ですが、田坂氏の云うには、そこには敗者が存在し敗者となったからといって人生の「失敗」ではないことを云われています。

私がお伝えしたい事は、「仕事」とは人生の成功（成長）を最もうながしてくれる「こと」だと云うことです。

以前は私も「仕事＝辛い・しんどい」出来れば楽に稼ぐことができないか・・・そんな事を思っておりました。

若い世代に、仕事の意義を伝えてあげたい・・・そう思います。その若い時期には理解は難しいとは思いますが・・・

仕事を通じて皆様に出会うことが出来ました。皆様から多くの事を学ばせていただき成長させていただいております。このご縁を大切にしながら生きていきたい（生きたい）。そう願う日々です。

私の携帯電話のメールアドレスです。お問い合わせ等の際、ご活用下さい！

sunclo_daisuke.2007@softbank.ne.jp